



No.92

# 市政の窓

## 「よかつべ」

台風や降雨により総合防災訓練が中止になるなど、野外行事に苦慮した9月でしたが、芸術・文化・スポーツの秋と言われる10月の行事は天候に恵まれ、充実感あふれる月でありました。

ゴルフ愛好者の仲間に入れていただき参加した市民ゴルフ大会や市民体育大会開会式。さらに、飯高檀林コンサートは最高の気候の中で、地元・匝瑳市出身でドイツを中心に世界で活躍されているソプラノ歌手の永井千恵さんが、ドイツと一緒に活動しているピアノとマンドリニストと共に来日いただき、境内にあふれんばかりの観衆を大いに魅了

いたしました。

特筆すべきことは、マンドリニストのドイツ人・ヴァイホーフエツさんが日本ならではの静寂な檀林の雰囲気や観客から送られる賛辞の拍手に感動し涙する場面もあり、本当に素晴らしいコンサートでありました。

また、六社大神・十二所神社・水神社の祭礼、ヨイトコ下富谷まつり、そして始球式ではホールインワンには届かなかったものの、匝瑳市シニアクラブ連合会のグラウンドゴルフ大会にも激励参加。さらには、駅からハイキングの八社参りにも挑戦いたしました。

好天の極め付けは、最高の秋日和の中で「第40回よかつべ祭り」が盛大に開催されたことです。思えば40年前、このような市民参加のお祭りを立ち上げ

ることは当時の八日市場青年会議所(JC)の大きな事業目標であり、私もJC理事長として実行委員会に参画し、企画時の苦労や寄付金集めに奔走した想いがよみがえってきました。特に、祭りの名前を決める命名会議が行き詰まった時、私の発した「名前なんかどうでもよかつべ」との言葉がヒントとなって「よかつべ祭り」と決定され、今年で40回を迎えたことに大きな感慨を覚えます。「たるみこし」を先頭に市民手作りの祭りが、さらに50回、100回と続き市民の皆様にあふれる祭りとなりますよう祈念いたします。

同日に新しい市議会議員も決まりました。共々に気力・体力を充実し、市政運営に邁進します。

匝瑳市長 太田安規

### 金原新田を歩く

## 六万部塚

匝瑳探訪

150

県立飯高特別支援学校から多古方面に県道16号線を進むと、金原新田集落入口の左側に林と畑があり、その周辺が「六万部」と呼ばれています。林の中には「六万部塚」と言われる古墳があり、地名を伝える石塔が建っています。

卵型の墓石には「妙経六万部 日賢」と刻まれ、これが由来になっています。

他に刻まれた文字を少し詳しく見ると、この墓石が建てられたのは1732(享保17)年2月24日、日晋が「遺望によつて」とあることから、自らも2万部のお経(法華経)を唱えたのを機に、師に当たるとみられる日賢の供養塔を建てたのでしよう。本コーナーの今年2月号「御塚講 吉田を歩く」で紹介した供養

塔とつながるものがあります。この墓石には次のような言い伝えがあります。

金原新田集落は江戸時代、幕府から禁止されていた日蓮宗不受不施派の信仰活動拠点でした。指導僧と信仰農民が集まり活動をした金原新田庵跡もあり、現在10余基の墓石が名残をとどめています。明治になり、不受不施派は再興し活動が認められますが、江戸時代後期には僧侶の墓石を土中に埋めてまでして信仰活動を続けていました。

再興後、墓石を掘り出し建て直したと伝わります。また、六万部塚の供養塔もその時まつられたと伝わります。

市内にはこうした隠れた史跡が何か所かあります。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問 秘書課広報広聴班

☎ 73・0080



六万部塚の石塔

# 文芸コーナー

## 短歌

小泉泰清 推薦

鈴虫の命ふるわせ鳴く夜半に  
病床の兄の笑顔浮かびぬ  
木下 昌子  
まだ夜はひとりて眠れぬ小二の孫  
添ひ寝してやる爺馬鹿なれば  
椎名 昭雄  
市長より米寿の祝い届きたり  
床の間に飾る夫の背丸し  
川手 芳  
松虫と名の付く古寺を訪ね来て  
案内の声も霧雨包む  
依知川雅一  
束の間の賑わい楽し秋彼岸  
鶏頭供え皆で合掌  
大木 洋一  
健診に勇んで出掛け帰るとき  
受付により数値気掛る  
小川 一夫  
八十路過ぎ冥土の土産に本上梓  
孫は手書きの直木賞呉れる  
日色 輝男

川口城司 推薦

植ゑし父逝きて五十年かジンジャーの  
香の清々とさ庭を彩ふ  
小川 知至  
球根と落葉埋めたる伽羅の蔭  
二本芽の出で彼岸花咲く  
大木 政子  
掘りたての「紅あづま」をば蒸したれば  
皮目ばかりほくほく旨し  
伊橋 良子  
逝きて早や十年の母に供へたる  
バナナの黒点増しつつ匂ふ  
稲葉 雪子

## 俳句

高安せい子 推薦

堰二更真昼の如し鴨来る  
刈千切唄尺八激す出棺前  
最上 峻  
秋麗脱皮の羽のいまひらく  
雨音の絶えて虫の音高くなり  
大川 宣子  
もち米は四合とぎし秋彼岸  
椎名 晴江  
雨がちの一日や良夜陽りぬ  
伊藤 定子  
秋の夕道の真中に子猫かな  
石田 健  
極早生のみかんが美味しいお彼岸に  
土屋美奈子  
境内がスマホに埋まる宮参り  
江波戸京子  
縁起良い数字目出度い七五三  
常世田やす子  
エイヤット孫には刀千歳飴  
鶴澤 澄子  
七五三祖母のへそくり全部消え  
林 サタ子  
親の意地借金しても七五三  
佐久間美智子  
神前に成長願う親子連れ  
鈴木 春子  
七五三主役の孫が大欠伸  
松野 敏昭

## 川柳

勝又康之 推薦

古希の坂背負いながらの身の回り  
及川 利道

川口城司 推薦

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班  
〒289-1219 匝瑳市八日市場ハ793番地2  
TEL 0473-0080 FAX 0472-11114

## 図書館だより

図書館ホームページはコチラ  
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…1日(木)・毎週月曜日 ●祝日開館日…3日(土)・23日(金) 9時~17時  
☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

### ホッと一息

10月27日(土)から11月9日(金)までは「読書週間」です。第72回となる今年の標語は「ホッと一息、本と一息」。11日(日)まで、一般書・雑誌に限り何冊でも貸し出します。図書館でホッとしませんか。

### 書庫見学会

普段は見られない書庫を公開します。参加者には記念日の新聞を見ることができる特典などもあります。  
日時…11月15日(木) 10時~11時  
対象…一般 定員…当日先着20人

### 10月のおはなし会

★八日市場図書館  
毎週土曜日14時から約30分間  
★のさか図書館  
第4土曜日10時30分から約30分間  
《冬のおはなしを楽しむ会》  
大型絵本やパネルシアターなどで、楽しく過ごしましょう。  
日時…12月1日(土) 14時から約45分間 場所…八日市場公民館1階第1講座室 対象…1人で静かにお話を聞くことができる4歳から小学校3年生くらいまでの児童  
※各イベントの参加は無料です。

## おすすめの本

『リアルサイズ古生物図鑑 古生代編』  
土屋健/著 技術評論社

皆さんは、古生物の大きさをイメージできますか。アノマロカリスはサバと同じくらい、ネクトカリスの握り寿司、ヴェトゥリコラのホチキスなど、身近なものと楽しく比べられます。

### 『世界を変えた100の化石』

ポール・D. テイラー、アーロン・オデア/著 真鍋真/監修 地的場知之/訳 エクスナレッジ

大英自然史博物館とアメリカのミソニアン博物館所蔵の標本から、化石100点を美しい写真とともに解説。サメのふんや火山灰に埋もれた足跡も見ることができます。